

【ソフトボール】

1 参加規程

各県男女各2チームとする。

2 競技規則

- (1) 本大会は当該年度（公財）日本ソフトボール協会オフィシャル・ソフトボール・ルールによる。
- (2) 本年度より、故意四球を採用する。
- (3) プレイヤーは18名（スコアラー1名を含む）とし、他にベンチ入りは、引率責任者1名、監督1名、コーチ1名、合計21名以内とする。
- (4) フィールディングは、競技場に入ることを許されたメンバー（プレーヤーは18名以内）で行わなくてはならない。
- (5) 試合開始予定時刻30分前までに当該球場に集合すること。
- (6) 安全のため、金属製及びセラミック製のスパイクの使用は禁止する。
- (7) 同一チームの監督・コーチ・プレイヤーのユニフォームは、同色・同意匠でなければならない。また、背中と胸下にユニフォームナンバーをつける。監督は30、コーチは31・32、主将は10とする。ただし、コーチは所属学校の校長または教員、または、校長の承認を得てコーチ登録をした者に限る。所属学校の校長または教員以外のコーチは、胸に指定の記章をつけなければならない。また、コーチにはフィールディングは認めるが、選手交代・打ち合わせ・抗議等の権限は認めない。また、ベンチから出て指示することも認めない。
- (8) 捕手は、スロートガード付きマスク、捕手用ヘルメット、ボディプロテクター、両足に膝当て付きレガーズを着用しなければならない。なお、準備投球の時、競技場内のいかなる場所で投球練習するときも必ずスロートガード付きマスク、捕手用ヘルメットを着用しなければならない。
- (9) 打者・打者走者・走者・次打者・ベースコーチは、ヘルメットを着用しなければならない。
- (10) 1・3塁のベースコーチは、プレイヤーのみとする。
- (11) チームのメンバーは、声を出したり動作で投球のコースを教えるてはならない。
- (12) 試合終了後のあいさつですべて完了とし、次の試合のためにベンチを速やかにあける。なお、対戦チーム、バックネット裏へのあいさつは一切行わない。
- (13) 役員テント、本部テントに大会関係者以外は入れない。
- (14) 監督会議には、ユニフォームを着用して出席すること。

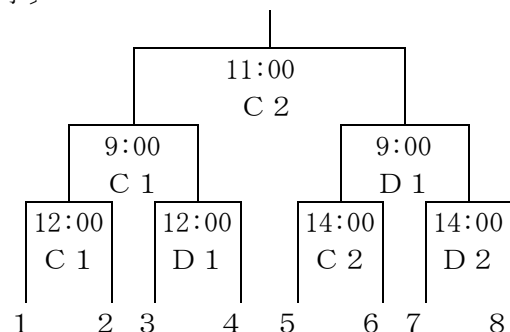
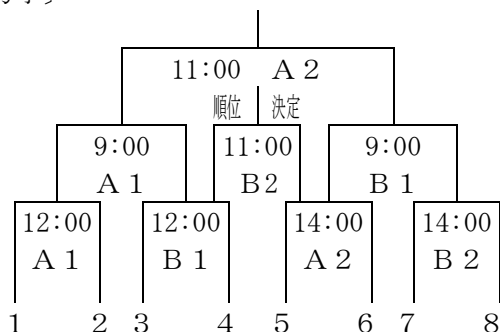
3 競技方法

- (1) 試合方法は、トーナメント方式とし、男子は順位決定戦を行う。
- (2) 試合会場は、次のとおりである。なお、開会式は、A・Cコートで行う。
男子：松山中央公園
女子：重信川かすみの森公園
A・Bコート C・Dコート

(3) 組合せ

[男子]

[女子]



4 その他

大会参加申込書提出後の選手の変更は認めない。また、全国大会の参加選手は、ブロック大会に参加した選手に限る。